製品安全データシート(SDS)

1. 製品名及び会社情報

製品名 : シールドリムーバー 会社名 : 株式会社クォーツテクニカ 住所 : 兵庫県灘区船寺通1-7-12

担当部門: 技術開発部電話番号: 078-200-4508FAX番号: 078-200-4509緊急連絡先: 078-200-4508改訂日: 2016年5月12日

2. 危険有害の要約

分類の名称 : 分類基準に該当しない。 危険性 : 消防法危険物に該当しない。

有害性 : 知見なし。 環境影響 : 知見なし。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合製品

化学名	含有量	CASNO	化審法	安衛法	TRTR法	毒劇物法	国連分類及び 国連番号
果実験 他	10~11%	77-72-9	(2)-1318他	公表	該当せず	該当せず	
ジペンテン (オレンジ)	2~3%	7705-14-8	(7)-983	公表	該当せず	該当せず	
フルオロアルキル カルボン酸	2~3%	433-44-3	(2)-1181	公表	該当せず	該当せず	該当せず
ポリオキシエチレン アルキルエテール塩	15~16%	9004-84-4	(7)-155	公表	該当せず	該当せず	該当已9
イオン化水	残量	_	_	_	_	_	
非イオン 界面活性剤	微量	_	_	_	_	_	

4. 応急処置

目に入った場合:直ちに流水で最低15分以上洗浄し、洗顔後の症状に応じて医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合:水又は温水でよく洗い流す。

吸入した場合: 新鮮な空気を吸入させ、症状に応じて医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合:嘔吐させて医師の診断を受ける。

5. 火災時の措置

消火方法 :保護具(手袋・眼鏡・マスク)を着用し消火剤で消火する。

消火剤 :粉末、二酸化炭素、泡、砂、水噴霧等。

6. 漏出時の措置

吸収剤(おがくず、砂、ウエス等)で吸着せしめ焼却処理。 大量の場合は土砂等で拡散、流出を防止し、回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い :保護具(手袋、眼鏡)の着用が望ましい。 :密封して屋内保管。凍結防止に心がける。 保管

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度 :記載なし

許容濃度 :日本産業衛生学会(年度版) 記載なし

AVGIH(年度版) 記載なし

設備対策

保護具 : 呼吸用保護具 特に必要としない

保護眼鏡 着用が好ましい 保護手袋 着用が好ましい 着用が好ましい 保護衣

9. 物理的及び化学的性質

外観等 :淡緑色半透明粘性状液体

:約100℃ 沸点 凝固点 :0°C以下

粘度 : (20°C) :300cps以下 溶解度 :水:任意に希釈

:1.00~1.50 PΗ 蒸気圧 :未測定 比重 :1.00~1.09

その他

10. 安定性及び反応性

引火点 :未測定 爆発限界 :未測定 発火性 :未測定

可燃性 :消防法危険物に該当せず

酸化性 :なし

安定性 : 反応性 極端な低温・高温により安定性を損なう。また異物の質混入によ

っても安定性を損なう場合がある。

自己反応性 爆発性 :なし 粉塵爆発性 :なし 発火点(自然発火・水との反応性) :なし その他

:

11. 有害性情報(人についての症例、免学的情報を含む)

皮膚腐食性

刺激性(皮膚・目) :目に対し刺激性があり炎症を起こす場合がある。

感作性 :データなし : データなし 急性毒性(50%致死量を含む) :データなし 亜急性毒性 : データなし 慢性毒性 :データなし がん原性 変異原性(微生物、染色体異常) : データなし 生殖毒性 : データなし : データなし 催奇形性

その他 :水と反応し有毒ガスの発生はない。

12. 環境影響情報

分解性 :96%以上 :データなし 蓄積性 :なし 魚毒性

その他:

13. 廃棄上の注意

少量ずつ焼却炉で焼却するか、専門の廃油業者に委託する。

14. 輸送上の注意

容器の漏れの無いことを確かめ、荷崩れをしないように搬送する。出来るだけ直射日光が当たらないように注意する。

15. 適用法令

労働安全基準法、消防危険物等の適用法令なし。

16. その他

記載内容の内、物理/化学的性質等の値は品質を保証するものではありません。 危険・有害性の評価は必ずしも充分でないので、取扱いには十分ご注意ください。

【シールドリムーバーの廃水処理方法】

- ・シールドリムーバーは反応界面活性剤(フルオロアルキカンボン酸)アニオン界面活性剤及び変性果実験 (グリコール変性)イオン化水(酸性)で組成されています。
- ・ 化学成分の取扱い区分は普通物になります。
- ・公害対策基本法、水質汚濁防止法に該当する施設でシールドリムーバーを使用する場合は下記の基準を 満たした廃水が義務づけられています。
- ※ シールドリムーバーに含まれている反応界面活性剤(フルオロアルキカルボン酸)は高濃度の塩酸、硫酸等 と併用した場合、フッ化水素酸を生ずる恐れがありますので併用は避けて下さい。 やむを得ず併用する場合、生じた廃水は石灰で中和、フッ化カルシュウムにして除去してください。

水質汚濁防止法(廃水基準1)

有害物質の種類	許容限度		
カドミウム及びその化合物	1別につきカドミウム0.1mg		
シアン化合物	1別につきシアン1mg		
有機りん化合物	1Uにつき1mg		
鉛及びその化合物	1別につき鉛1mg		
六価クロム化合物	1lにつき六価クロム0.5mg		
ひ素及びその化合物	1lにつきひ素0.5g		
水銀及びアルキル水銀その他の水銀化合物	1Uにつき水銀0.005mg		
アルキル水銀化合物	10検出されないこと		
РСВ	1別こつき0.003mg		

水質汚濁防止法(廃水基準2)

項目	許容限度
水素イオン濃度(水素指数)	5.8以上8.6以下
生物化学的酸素要求量(単位10につきmg)	160(日間平均120)
化学的酸素要求量(単位10につきmg)	160(日間平均120)
浮遊物質量(単位10につきmg)	200(日間平均150)
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(単位1kにつきmg)	5(鉱油類含有量)
ノルマルヘキサン抽出物質含有量(単位1kにつきmg)	30(動植物油脂類含有量)
フェノール類含有量(単位10につきmg)	5
銅含有量(単位10につきmg)	3
亜鉛含有量(単位10につきmg)	5
溶解性鉄含有量(単位10につきmg)	10
溶解性マンガン含有量(単位10につきmg)	10
クロム含有量(単位1llにつきmg)	2
ふっ素含有量(単位10につきmg)	15
大腸菌群数(単位1ccにつきmg)	日間平均3000